

オーケストラ・プライベート・エクイティ、投資先の株式会社Banolim Pizzaの法人名を「ピザアンドカンパニー」に変更、オグピザなど関連3社を追加買収

法人名を変更し、リブランディングすることで若年層へのアプローチを強化

3件の追加買収により、オグピザの購買・物流機能を内在化するなどPMIを実行

2025年 4月 1日

オーケストラ・アドバイザーズ・コリア有限会社（以下「オーケストラ」）が設立した「オーケストラ・プライベート・エクイティ第4号私募投資合資会社」（以下「OPE IV」）の投資先である株式会社 Banolim Pizza（以下「ピザアンドカンパニー」）は、法人名を「ピザアンドカンパニー(Pizza & Company)」に変更し、主に若年層をターゲットとしたリブランディングを実施しました。今回のリブランディングでは、ロゴ及びCI(Corporate Identity)の刷新を含め、同社が展開する2つのブランド、'Banolim Pizza'および'オグピザ'の両方を対象に、トレンド的な感性をより強調することで、ブランド競争力の強化と顧客接点の拡大を図っています。

ピザアンドカンパニーは、2021年11月にオーケストラの傘下に入って以降、積極的な投資を通じて外部成長を続けてきました。特に2022年からは購買および物流機能の内製化を推進し、生地、ピザソース、ガーリックソース、サツマイモムースなど、ピザにおける主要原材料を自社工場で生産・供給することで、垂直統合による運営効率の強化を図っています。

また、2024年11月のオグピザ買収直後より、迅速にPMI(Post-Merger Integration)を進めており、オグピザの主要物流を担っていた3社の運営会社に対する追加買収も段階的にしました。具体的には、株式会社Dae rimの営業譲渡は2025年2月末に完了し、株式会社Dooriおよび株式会社Baekyeonについても、それぞれ2025年3月中に営業譲渡手続きを完了する予定です。今後は、オグピザにおける一部の生地およびソース供給品目を自社製造に転換することで、さらなる収益性向上を目指します。

これにより、ピザアンドカンパニーはオグピザブランドの一貫した運営体制を確立し、加盟店との円滑なコミュニケーションおよびサービス品質の体系的な管理が可能となる見込みです。

ピザアンドカンパニー代表のマ・ジホン氏は、「今回のオグピザ買収は、単なるブランド拡張にとどまらず、物流システムの統合・管理によって効率的なサプライチェーン運営を実現するものです」と述べ、「物流関連コストの削減とサービス品質の向上を両立させることで、両ブランドの運営効率と製品品質を同時に高め、国内フランチャイズ市場における確固たる競争優位を確保していきたい」と語りました。

オーケストラ・プライベート・エクイティ 概要

オーケストラ・プライベート・エクイティは東アジアに基盤を置き、中堅・中小企業を対象にクロスボーダーを含む投資を行い、「チャンピオン」への成長を支援するプライベート・エクイティ・ファンドです。シンガポールの拠点を通じて、主に日本と韓国に投資しており、投資先の価値の源泉を理解し、中長期的な企業価値創造に必要な知見・経験を適用します。また、投資先の経営陣と密に連携し、単体での成長および更なる地域拡大はもちろんのこと、強い経営陣の構築や経営基盤の強化、国内外における追加買収を通じたさらなる企業価値向上のお手伝いをいたします。詳細は www.orchestraprivateequity.com をご覧ください。このプレスリリースに関する問い合わせは information@orchestraprivateequity.com までご連絡ください。

ピザアンドカンパニー 概要

ピザアンドカンパニーは、2013年に「Banolim Pizza」というブランドでスタートした宅配専門ピザフランチャイズ企業で、現在は「Banolim Pizza」と「オグピザ」の2つのブランドを運営しています。大邱本社および自社工場で生地、ソースなどの主要食材を直接生産する垂直系列化システムを保有しており、全国の加盟店に効率的に供給しています。2021年、オーケストラ・プライベート・エクイティの買収後、購買及び物流機能の内在化、リブランディング、PMIなどを通じて急速に外部的な成長を遂げ、現在約750加盟店を運営中です。詳細は www.pizzancompany.com をご覧ください。